



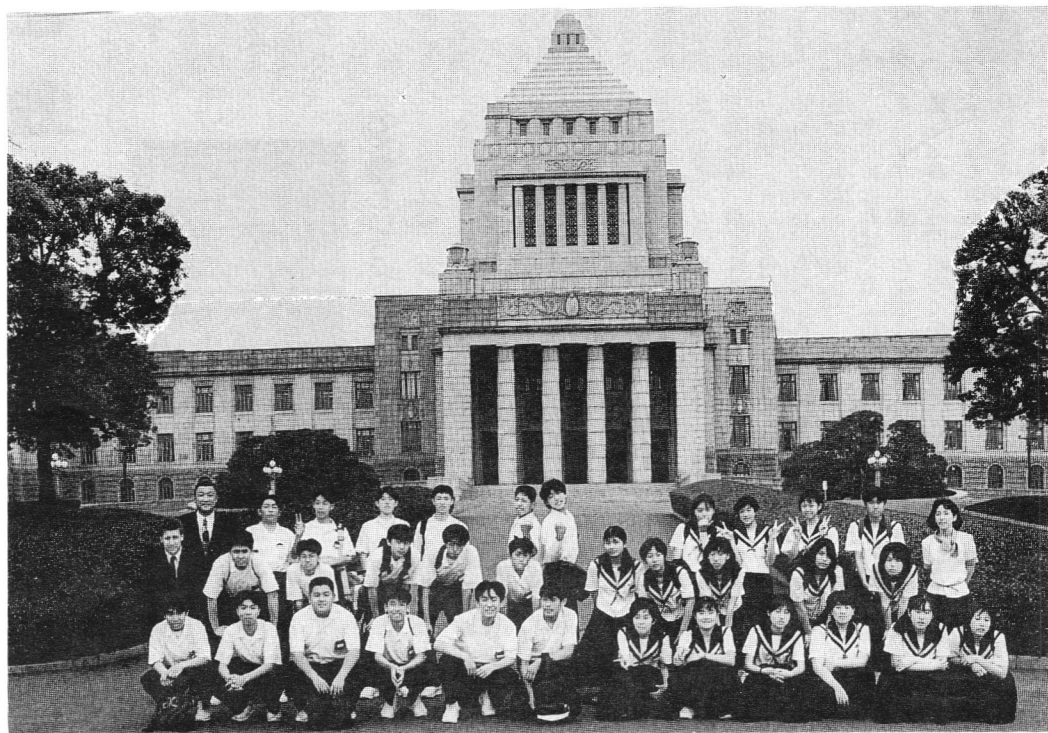
編集発行

安八郡輪之内中学校

PTA 会報委員会

題字 江木洋治

印刷 (株)ダイキュー



リダーががんばった!! フォロアーもがんばった!!

三年主任 渡辺 勝久

ある生徒のお父さんのお話。

「家に帰ったら、娘が一時間半も修学旅行のことを話し続けていて、ビクビク。その話を相手を打ちながら聞いていたお母さん、お祖母さんに二度ビックリ」このお話しをお聞きしただけで、この修学旅行は、一人一人の生徒にとって有意義であったなあと私は感じとれたのである。

修学旅行を迎えるにあたって、学年執行部で案を練って決めた学年目標『自分が感じ、学び、つかみとった思いを出一つでも持ち帰ろう』が達成できた、と思いました。それも、ただ楽しい修学旅行というだけでなく、一人一人が中味のある、何かをつかみとれたことが、私にとって大変うれしいことである。

(キャラクター、ワイワイだけの旅行でないことが)こんな例もあった。二日目の都内研修のおり、旅館を出発して一時間たないうちに、グループが離れ離れになった。心配していたのだろう。一時間後にやっと合流できたとき、思わず流れ出た涙に、言葉に言い表せない素晴らしい体験をした一グループのこと。

また、大使館へ行きたいために、事前に学校から何度も電話をかけたが、言葉が通じず(ロシア語であった)「あきらめて、次の大使館での電話では、相手からファックスで場所まで送ってもらえて、喜んでいたグループのこと。

また、都内研修、東京ディズニーランドなど班で計画を立てている中で、仲間割れして大いに悩んだグループのことなど、いろいろと学び、つかみとってきてくれたとのことである。

このように、修学旅行が大成功を収められたのも、実行委員が早くから計画を立て、班長がまた班員が前向きな姿勢で取り組んだからこそだと思います。これこそ一三二人の気持ちが一つになった表れです。だからこそ、又一つ、学年目標である『勇名を響かせよう』に一步步近づけたのである。

この最たる場面は、解散式のあ

の全員での大きな声の「ただいま」の挨拶。添乗員、校長、養護の先生への「ありがとう」の言葉。今でも、私の心に鮮明に残り、胸に響いています。この時の感動を、もっと多くのお父さん、お母さん方に聞いて欲しかったなあと思うほどに。

リーダー、フォロアー、よくがんばったぞ。



社会見学

一年二組 木村真理子

「新岐阜百貨店はどこですか？」
「どこですか？」道行く人に聞きました。高校生やおばさん、おばあさん等に聞きました。一番最初は「加納の和傘」でビデオを見せてもらったり、作っている所を見たりしました。雨が降っていて、予定の時間より早く出ました。いつもあまり男子とは話し合えないですが、「こっちなな。」「写真とろう。」など話してもできました。傘をバスに忘れた仲間のためにバスを追いかけたりもしました。やさしい言葉をかけてくれた仲間がいて幸せでした。岐阜市内研修で仲間のよい所が見え、どんな困難があっても今の仲間がいれば、乗りこえられると思います。



名古屋という名の冒険地

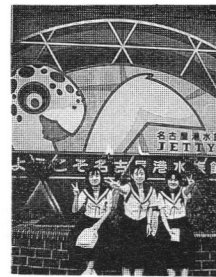
二年二組 吉田 江里

名古屋——と聞いたとき、私はちゃんと帰ってこれるだろうかという不安にかられた。

社会見学当日。天候はいにくの雨。かさをさしながら行動する。一日乗車券を必死の思いで買い、地下鉄に乗った。地下鉄の場所や見学地の場所が分からない時、親切に教えてもらい「親切」というのがどれほど良いものなのか、あらためて実感させられた。

来年になればさらに規模が大きくなり、東京となる。名古屋へ全員が時間厳守で集まれたようにこれからの団体行動でも発揮できるようにしたい。

それがこの「社会見学」の意味なのだから……。



修学旅行を終えて

一組 水谷 雄二

僕は、修学旅行の計画のときから、修学旅行を成功させようと思っていました。

一日目の浅草、国会議事堂は集団行動がみんなできていたと思います。

二日目の都内研修は、

どの班も東京の素晴らしさに触れたと思います。修学旅行を通じて、学級、学年の協力性や団結力が高まったと思います。



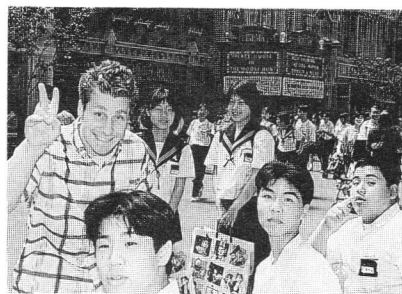
二組 大橋 陽子

期待と不安が入り混じったまま迎えた修学旅行。その不安の原因は、なんといっても二日目の班別研修にありました。

突然起こったハプニングと都市で流れる時間の速さは、私達を日本の中心にいてと思わせるには十分すぎるほどでした。

しかし私達は日本の首都で、何にかえがたいものを得ることができました。班別研修の中で自然に生まれた「絆」。それ

は私達が手探りで見つけた大切なものなのです。



三組 堀田 将士

班別研修では、計画どおりには行きませんでした。

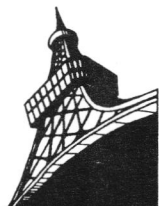
カナダ大使館へ行くときも、道に迷いました。TBSへ行っ

てしまったりしました。けれどタバコ屋のおばさんが教えてくれて道がわかり、クリーニング屋の人にも聞いて、予定より大幅に遅れましたが、着きました。その時は、つかれたと思う気持ちと、うーん、いい気持ちがい

きました。人に尋ねたりすることが思い出になりました。

四組 浅野小百合

「なにもなくぶじに修学旅行を終えることができるか。」私は楽しみにしている気持ちとともにこんな気持ちもありました。そして実際にはいろいろなことがおこりました。しかし、その中で、日ごろ過ごしている班のみんなとの違った面での協力や友達の大切さを学びました。中学生生活最後の旅行。あつという間に感じるくらいに楽しく、一生の思い出になるものをつかみ取ってきたと思います。



歌声広場を終えて

生徒会長 平塚 理恵

歌声広場への取り組みがはじまると学校中から、素晴らしい歌声が響くようになりました。

合唱を通して、学んだことがたくさんあります。一人では決して創り上げられないこと。全員の気持ちが集まり、はじめて真の合唱になること……

そして、その財産が、仲間同士の絆のしるしです。

私たち三年生にとって、どの行事も中学校生活最後のものです。全力でぶつかり、多くの感動を感じ、伝えていきたいです。



歌声委員長 菱田 智子

今年は、15日しか練習できなかった。その分、どのクラスにも不十分な所はあったと思う。だけど、歌声広場を通して学んだ事もいっぱいあった。「努力すること」「団結すること」「協力すること」「まだいっぱいあると思う。でも一番大切なのは、友達とのきずなを深めることだ」と思う。喜びや苦しみも、友達となら、わかりあえると思う。だから、歌声広場で学んだことを大切にしていきたいです。これからも、歌声響く学校にしたいです。

スローガン

歌声響くさわやかな学校



初めての歌声広場

一年 西脇 啓道

中学校生活が始まって二カ月近くたち、僕達一年生は歌声広場という大きな行事に向けて、毎日朝と放課後にみんなを決めた『光の中へ』を練習してきました。始めはリズムがうまくとれず、ばらばらだったけど、田中先生や、一年生の先生方に、よい点や悪い点を指導してもらいました。

そして、当日、少し緊張している中、みんな力いっぱい歌いました。拍手が返ってきた時は、うれしかったです。

歌声広場を通して

二年 浅野 良太

少ない練習期間の中、どのクラスも響きのある感動できる歌を歌ったと思います。

僕達のクラスでは、一生懸命に取り組むあまりいがみ合いも起こりました。その時話し合いをし、自分の意見を言い合いました。そのことで、みんなの歌に対する真剣な気持ちが確認し合え、その子に合ったリーダーの呼びかけ、リーダーへの協力が現われてきました。

僕にとって、クラスにとってとても価値ある行事だったと思います。

歌声広場を終えて

三年 片野由加里

今年の歌声広場への取り組み日数は例年より少なく、さらに私達の曲は声が出しにくいので「大丈夫かな」と思った時も時々ありました。でも、その不安とは逆に本番では練習以上に声が出せ、歌い終った時今までにない快感を感じました。

そして私は歌声広場を終えた今、以前よりこのクラスが身近に感じられるようになりました。これは団結の成果だと思います。この行事でつかみとった事を今後の活動に生かしたいです。

歌声広場を通して

三年 中島 素子

新しいクラスになって今回の歌声広場は、ものすごく大切なものになりました。

歌いはじめの頃、みんな、声も出なくて、懸命さもなく、バラバラでした。でもそのうち、これではいけない、と思い始め、やっとあの歌が完成したのです。本番の満足感は、今でも忘れられません。歌声広場を通して、このクラスに誇りが持て、このクラスの一員でよかったと思います。

みんなのPTA活動

PTA会長

黒田 末記

今年度PTA活動がスタートしあつという間に三ヶ月が過ぎました。実行委員会を中心とし各学年、専門委員会のメンバーの皆さんが各行事を行うのに一人でも多くの方が参加していただけるよう工夫し実践しつつあります。まず四月中に開拓が行われました。又一年間のPTAの歩みを写真とビデオで撮りまとめようとしております。今年度PTAコースも四十八名参加していただき、四月二十六日PTA総会と六月七日生徒の前で発表致しました。七月二日高山研修には五十八名の方に参加していただき、会員の皆さまの御支援に深く感謝致します。

お知らせ

九月二十二日、日曜日
輪中体育大会に、親の参加種目があり、多数の参加をお願いします。

介護講習会を終えて

堀田 君代

老齡化社会という言葉に耳にせずには分たします。いずれ、介護したり、あるいは介護される時がやってきます。

今回は、まず社会福祉協議会と町の保健婦さん、ヘルパーさんに、輪之内町の介護の現状、お年寄りの心と体、どんな援助が受けられるか、等話しして頂きました。その後、初歩的な実習として、シートと寝巻きの交換を参加者が体験しました。実際にベッドに横になっている人をお世話するのはとても大変なことです。約二時間の講習で介護の一部しか勉強できませんでしたが、介護の大切さと大変さはよくわかりました。



♥ 廃品回収
ありがとうございました

収益金
一 四万三千四百円

廃品回収

相川 正行

地区委員さんと生徒のスピーディな回収で、アツというまに終わる。

学校では、三年生五十数名と先生、業者の方で、各地区からの回収品を手際良く袋づめをして、二時間半位で終わりました。皆様、御協力ありがとうございました。

研修旅行

PTA研修視察に

参加して

成人委員会

小林 美代子

梅雨の晴れ間となった七月二日、清見村ラベンダーの里見学と、古都高山散策の日帰りを、楽しんでまいりました。

五十七名参加となりバスも満席で、参加していただいた方には、不自由をおかけしましたが、中では、マイクの争奪戦が繰り広げられ大盛況となりました。ラベンダーは、まだつぼみが多く残念でしたが、高山の澄んだ空気を吸って心身共にリフレッシュすることができました。



パターゴルフ大会

野々垣佐智子

「えー、私が優勝？ うそでしょう。」

これが、最初の気持ちでしたが、もう、嬉しくて嬉しくて。家に帰ってから、あんまりはしゃいでいるので、子供に「お母さん、子供みたい。」と、笑われてしまいました。

雨上がりでとても蒸し暑かったのですが、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。機会がありましたら、是非また参加したいと思ひます。

編集後記

第八十三号の開拓を完成する事が出来ました。

手さぐり状態での発行ですが、会報委員一同個性を生かし少しでも楽しく読んでいただける様努力していきたく思っています。

今後も皆様に、原稿など、御協力をお願いすると思いますが、宜しくお願い致します。